



「心田を耕す」（関連記事：4 頁）

1 月号の記事

新年のご挨拶	2
地域づくり協議会の活動	3
北アルプス国際芸術祭を振り返って	4
地区活動	5~6
たけのこ保育園	6
八坂小学校、八坂中学校	7
コミュニティ・スクール、山留の風	8~9
八坂公民館	10~11
話題の八坂人	12

あけまして
おめでとう
今年一年が
皆様にとりまして
良い年でありますよう
ご祈念申し上げます。
ございます



八坂地区の人口：758人
（男376人・女382人）
八坂地区の世帯：349世帯
（令和3年12月1日現在）

新年のご挨拶



八坂地域づくり

協議会長

北澤 伸夫

新年あけましておめでとうござ
います。年頭にあたり、新年のご
挨拶を申し上げます。

日頃は当協議会の活動にご支援
ご協力を賜り、心より感謝申し上
げます。昨年は二年続きの新型コ
ロナウィルス感染症の影響で、一
部イベントの中止や縮小を余儀な
くされ、活動の制約を受けたこと
は誠に残念でした。しかし、年の
後半には感染者が減少傾向とな
り、感染防止対策等に工夫を凝ら
しながらイベントを実施すること
ができました。顔と顔を合わせ、
人と人との交流ができることは地
域づくりを進める上で大変重要な
ことであり、今後もこのようにし
て実施できるか工夫をしながら進
めてまいります。

昨年の協議会の主な活動状況を
ご報告しますと、栃沢地籍への定
住促進住宅二棟が完成し、七名の
新たな入居がありました。自治会
振興にも貢献できると期待してお
ります。北アルプス国際芸術祭は
十月二日から五十一日間行われ、
八坂地区のアート作品には、地元
の住民の皆さんがボランティアと

して制作にご協力をいただき、多
くの来場者で賑わいを見せていま
した。地域の魅力再発見につな
がれたいと思います。

陳情活動につきましては道路関
係、砂防関係、行政関係の各機関
へ懸案事項の早期実現について要
望を行い、今後も継続して取り組
みを進めてまいります。

八坂ビューポイント整備の活動
も継続していますが、今後、新た
なビューポイントについて整備を
進めたいと思います。

昨年コロナ禍の影響で中止とな
りました夏祭りは、開催日を秋に
移し、感染予防対策をとりながら
実施致しました。約一八〇名の地
域住民の皆様が、ご参加いただ
き、短時間でありましたが抽選
会・花火等を楽しみ、開催目的で
ある地域間交流ができたと思いま
す。

八坂地区も人口減少、少子高齢
化が進む現状ではありますが、地
域住民の皆さんが安心して暮ら
せ、八坂に誇りを持てるような取
り組みを、今後とも行って参りたい
と思いますので、地域住民の皆
さんのご支援ご協力をお願い申し
上げます。

本年が皆様にとりまして良き年
となります様ご祈念申し上げ、新
年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

大町市八坂支所長 牛越光夫

新年あけましておめでとうござ
います。皆様方おかれましては、
ご家族お揃いで、新年を迎えるこ
ととお慶び申し上げます。

日頃は、八坂支所の事業の推進
にあたり格別なご理解とご協力を
賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は年明け早々に新型
コロナウィルス感染拡大となり、
第3波が全国的に広まりました。
その後、3月下旬頃には落ち着い
たものの、4月下旬から第4波、
また、7月下旬から9月中旬ころ
までが第5波と全国的にも感染が
拡大となつてしまいました。その
後は、9月下旬頃には感染者が少
なくなり、緊急事態宣言の解除後
は、感染が収まりつつも伺える状
況が続いております。これも、5
月より高齢者を対象に新型コロナ
ウィルスワクチン接種がスタート
し、多くの皆さんがワクチン接種
されたことや、皆さんが、コロナ
禍で不要不急の外出など行わない
状況だったと思います。

一昨年から新型コロナウィルス
感染に振り回され、心身共に落ち
込んでいる中、昨年は、八坂地区
文化祭の前夜祭として、八坂地域

づくり協議会の委員を中心に実行
委員会を組織し『やさかに元気を
取り戻す』意味で、八坂小学校の
グラウンドを主会場に10月23日の
夜に地区住民限定で『八坂秋祭
り』を開催し、お楽しみ抽選会や
打ち上げ花火など、1時間程度で
はありましたが、八坂地区住民に
“ひと時の元氣”が見え始めた
と感じたところであります。

また、10月2日から11月21
日まで開催された、北アルプス国
際芸術祭NOON-NOONでは、横
瀬地区の会場の作品制作や作品の
撤去作業に多くの地域の皆さんが、
ボランティアとして関わって頂い
たことに感謝申し上げます。

今後、国では3回目のワクチン
接種を行う計画で、市でも昨年の
後半から、65歳以上の方へ順次
接種券の配布を進めています。前
回接種された皆様は、是非3回目
のワクチン接種をしていただき、
早く正常な日常生活に戻る事を祈
るばかりであります。

支所といたしまして、各団体の
皆様と一緒に、少しでも
“元氣を取り戻す”ソフト事業を
工夫して行える様に心がけていき
たいと考えております。

最後になりますが、今年一年が
皆様にとって良い年になりますよ
うご祈念申し上げ、新年のごあい
さつとさせていただきます。

地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
11/11	第 10 回やさかだより編集委員会	・やさかだより 1 月号の編集会議
11/26	第 5 回八坂地域づくり委員会 第 3 回自治振興会長会議	・八坂診療所の移転について ・地域振興住宅建設候補地について
12/16	第 4 回八坂地域づくり協議会	・視察研修について ・市長との懇談会について ・八坂診療所の移転について
12/15 ～12/31	年末の交通安全運動	・交通安全協会事業所訪問 ・街頭指導



八坂秋まつり開催！

10月23日（土）に地域間交流事業「八坂秋まつり」が行われました。この事業は、例年8月14日に「八坂夏まつり」として開催してきましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため、残念ながら中止となりました。今年もコロナ禍ではありましたが、地域住民が一堂に会し、楽しめるイベントができないかと会議を重ね、開催時期を八坂地区文化祭の1日の夜とし、会場も密を避けるため八坂小学校グラウンドに変更し、参加者には健康チェックシートの提出や、手指消毒・検温の実施などご協力をいただく中で、万全を期して開催することができました。



一年ぶりの 大輪の花火に歓声！

当日はとても冷え込みましたが、約180名の方の参加があり、お楽しみ抽選会と打ち上げ花火を楽しみました。お楽しみ抽選会では、51本用意した賞品の当選番号発表に一喜一憂し寒さを忘れて大いに盛り上がりました。



寒空の下、八坂小学校のグラウンドに大勢の人が集まりました。

『OROCHI（大蛇）』布施知子さん作（旧大町北高等学校）



北アルプス
国際芸術祭
2020-2021



『尊景のための展望室』
菊池良太さん作（鷹狩山展望台）

10月2日（土）から11月21日（日）までの51日間開催された
『北アルプス国際芸術祭 2020-2021』

市内には34作品が設置され、期間中大勢の方が鑑賞しました。
八坂地区に設置した3作品と八坂在住の布施知子さんの作品を写真で振り返ります。



『信濃大町実景舎』
クリエイティブチーム「目」作
（鷹狩山）



『心田を耕す』ヨウ・ウェンフーさん作（横瀬地区）

横瀬地区のアート作品の 撤去作業が行われました

閉会后、アート作品の撤去作業が11月25日から27日まで行われ、悪天候のなか、一絵会のみなさんをはじめとし、ボランティアのみなさんは黙々と竹ひごを引き抜く作業を行い、元の風景に戻しました。

参加をされた皆さん
お疲れさまでした。



矢下集落

諏訪神社の移転

この度、矢下集落ではお宮の本殿移転を行いました。以前は集落の一番下にあるお宮の社殿にありましたが、現在は矢下の集会所の庭にあります。新しく本殿を移転する際には集会所の庭の整地や基礎作り、排水などの環境整備なども自分達で行いました。8月から実施した計画が、11月13日（土）にようやく工事が完了。11月21日（日）に神主様による神事を行い、神様を新しい場所へ遷すことができ、より身近で手を合わせられるようになりました。神主様によると「尊い気持ちを持って清掃や、お参りをすることは大変



良いこと。」とお言葉を頂きました。私も尊い気持ちを忘れず「自然の恵みに対する感謝を持ち、集落の人たちがともに健康で過ごすことが出来れば良いな。」と心から思うようになった行事となりました。

矢下集落
小野哲孝

切久保こども会活動

どんど焼きに向けて、

萱刈りをしました



11月28日（日）、今年最後の子どもの会の活動を行いました。まずは、お昼にみんなで食べるおにぎりをにぎるところからスタート。すぐに食べたい気持ちでぐっとこらえて、次は花壇のお片付けに。通るたびにみんなの目を楽しませてくれた花壇をきれいにして来年に備えます。

花壇の片付けが終わったところでお昼ご飯にしました。みんな握ったおにぎりと、各家庭より思い思いの具を持ち寄った豚汁をいただきました。とても美味しく、おかわりする人があとを絶ちません。



お腹も満たされ、体も温まったところでメインイベントの萱刈り作業となります。年明けに行う、どんど焼きに使う萱を刈るのですが、今日は良い天気だったので、前日に降った雪で萱が寝てしまっていて、いつも刈っている場所では刈る事ができませんでした。少しでも刈りやすいところを求めて、あっちへ行ったりこっちへ行ったり。結局、十分な量を刈れずに日をあらためる事になってしまいました。あまり小さなやぐらになっても寂しいので、頑張ってもう少し刈る事とします。最後にどんど焼きと鳥追いの日程を決めて解散となりました。準備などは大変ですが、どんど焼きも鳥追いも脈々と受け継がれてきた伝統行事なので、その意味を理解し大切にしていきたいと思っています。切久保のどんど焼きは1月10日（月）に行われます。

切久保自治振興会 吉原克巳



お料理交流会・わら細工教室

12月19日(日)に婦人部の皆さんが、おにぎらず・おでん・白菜の浅漬け・春菊の簡単ナムル風のメニューで地域の方と交流するお料理交流会を開催しました。おいしい料理を作ったり食べたりと大いに交流できました。その間に男性役員は山村広場と生活改善センターの大掃除を進め、午後は「わら細工教室」を開催。それを片付けてから、懇親会があり、盛りだくさんな一日でした。この1年間コロナ禍の中で延期をしていたバス

旅行が中止となりました。またラベンダー園の整備等に頑張っていた地域の方に、感謝の気持ちを込めて、今年は懇親会を開催することにしました。お料理交流会で作っていた料理も並び大掃除が終わった畳の部屋で楽しいひと時を過ごすことができました。婦人部の皆さん、朝から美味しいお料理を準備していただきありがとうございます。来年度に向けて新たな活力が湧いてきた、ちょっと忙しいが充実した一日となりました。

野平自治振興会

丸山郁夫



美味しいお料理をいただきながら、賑やかな一日となりました。



たけのこ保育園

発表会、元気にできたよ!



さるかに合戦の劇や、歌や合奏をお家の人に見てもらいました。朝から「やる気満々!」と子どもたちから声が聞かれ、少し緊張もしましたが、張り切って発表ができました。子どもたちのニコニコしながら発表する様子はとても可愛く、恥ずかしそうにしながらも頑張る姿もほえましかったです。

お家の皆さんからたくさん拍手をもらい、子どもたちからもサプライズのプレゼントをしました。最後にお母さんやお父さんにグッとしてもらってとても嬉しそうなお子どもたちでした。



保育園に 遊びにきてくれて うれしかったよ!

授業の一環で八坂中学2年生が保育園に来てくれました! お兄さんやお姉さんは、鬼ごっこやパズル、宝探しにお店ごっこ...と楽しいことを考えてきてくれたと一緒に遊びました。



福祉施設『みさか』の利用者の皆さんに、運動会の時の遊戯を見ていただきたり、一緒に手遊びをしたりと楽しい時間を過ごしました。



八坂には季節ごとの楽しみがいっぱい!



八 坂 小 学 校

新型コロナウイルス感染症がだいぶ落ち着きましたので、これまでのように健康チェックシートの提出と感染防止措置をとりながら11月19日（金）に通常の授業参観を実施しました。

当日3時間目には、全校での持久走記録会を行いました。2学期は、熊出没警報の発出もなく、徒歩通学に加え、朝や休み時間・体

育の時間も練習を行い、本番も元気に走りました。その結果、昨年よりだいぶタイムを縮める等、走力を伸ばすことができた子どもたちの姿がありました。

2時間目と4時間目は、各学年ごとに教室等での授業を見ていただきましたので、その様子を一部ご紹介します。

持久走記録会



1年生 教科：道徳

2年生 教科：生活

3年生 教科：道徳



「ジャングルジム」のお話をもとに、ロールプレイをしながら友だちと仲よくすることにについて考え、仲間外れをせずにみんなで仲良くすることのよさを実感していました。

「大きくなったばくしぼくの誕生」

市立大町総合病院の助産師さんを講師に、誕生までの疑似体験等を通して命の大切さについて親子で学びました。

「目が見えない人の気持ち」

アイマスクを使って目の不自由さを体験し、バリアフリーの大切さやサポーター支援のありがたさを学びました。

八 坂 中 学 校

フォトコンテスト

昨年に引き続き生徒会でフォトコンテストを実施しました。八坂の自然や文化をテーマに、延べ79作品の応募があり、八坂支所の小浪地域振興支援員さんにも参加していただき審査会を開催しました。

寄せられた作品から1枚が選ばれ八坂PRポスターに加工され市内各所に飾られる予定です。



そば打ち

八坂中学校の特色ある教育活動のひとつにそば学習があります。今年は学校近くの休耕田をお借りし、そばの栽培に取り組みました。幸い鹿やハトの被害にあうことなく無事収穫できました。

そば組合さんからも粉を分けていただき、『八坂元氣会』の皆様のご協力を得て、ふれあい体験館でそば打ちを実施しました。やはり香り豊かな新そばの味は格別で思う存分八坂の味を楽しめました。

これもひとえに地域の皆様のご協力のおかげです。心より御礼申し上げます。





～小学5年生 稲作プロジェクト～(田んぼ活動記録)



はちおもい

5年生8人の想いを込めたお米は『**八 想**』と名付けました

天候にも恵まれ、学校支援ボランティアの北澤豊繁さん、山留センターの大山楽人さん、平林淳先生にご協力いただき行なうことができました。北澤さんから、稲刈りの注意点だけではなく「一つのお米が取れるのかを調べて、みんなの学びを深めてほしい。」と子どもたちへメッセージもいただきました。山留の生徒は、既に稲刈りをしていたため、みんなであっという間に刈り取ってしまいました。稲を結んでいく結束の作業は、藁をねじり、ねじった部分を輪の中へ入れ込むところに手こずり、苦戦している子どももいましたが、教えている子どもたちの姿もあり、ほほえましく見ることができました。稲を運ぶ時、両腕や両肩に稲の束をのせ、まるで「なまはげ」のような姿で一氣に運んでしまう子どももいて、感心しきりでした。プール西側の柵に一列きれいに稲穂が並び、無事にはげかけまで行なうことが出来ました。

稲刈り 9月27日(月)

脱穀 10月11日(月)

脱穀
10月11日(月)

脱穀と唐箕（とおみ）
 を使って藁などのゴミを
 取り除く作業の2チーム
 に分かれ、作業を交代し
 ながら行ないました。経
 験がある山留の生徒は、
 絶妙なタイミングで脱穀
 機を動かしていました。
 足踏みをする人、稲穂を
 当てる人と分担して協力
 しながら行なっていまし
 ました。

唐箕の機械は、粃が機械の中に溜まりやすく、機械の動き具合をよく見ながら手で粃を取り出すことも同時に行ないながら効率よく作業を進めていきましたが、予定していた2時間では全く終わらず……しかし、炎天下の中、顔を真っ赤にしながら根気よく頑張ったおかげで全ての脱穀作業が終了しました。

目標は50kg以上でしたが約65kgの収穫でした！



八坂文化祭当日、体育館入り口で収獲したお米「八想」を販売しました。販売に向けて、お客さん側の気持ちを知らりたいということで先生方にアンケートをとったり、3種類のラベルシールを貼り付けたり、全校児童や先生方にチラシを配布したり、看板も作成しました。米の袋には、生産者の名前や精米時期も書き入れました。5年生で玄米、白米合わせて36袋作ることができました。

「お米の販売始めます」と呼びかけをすると、次々とお客さんがお米を買い求めに来てくれ、24袋あった白米は、あっという間に完売！玄米も「玄米は栄養価が高いですよ！」と大きな声で呼びかけると、これまたあっという間に完売！子どもたちはとても喜び、今回の稲作プロジェクトで更なる団結力を見ることが出来ました。

売上金の使い道は、子どもたちで相談して決めていくようです。

『八想』販売

10月24日(日)



12月8日(水) 八坂公民館(アキツ)ホールにて、コミュニティ・スクールの集いが開催されました。地域の方々と小中教職員、保護者等が参加し、昨年を上回る47名の参加者がありました。

講師に文部科学省総合教育政策局地域学習推進課の宮川拓史氏をお招きして『コミュニティ・スクールの推進について』というテーマで講演が行なわれました。講演を通じて他県の現状を知り、その目的や働きについて理解を深めるとともに、私たちは今何ができるかを考えていく貴重な時間となりました。

地域で子どもを育てるための コミュニティ・スクールの集い

コロナの影響で懇親会なども自粛していたこの期間、膝を交えて話す事がいかに大切なのかを改めて認識できる良い機会となりました。

後半のグループワークでは、お題『学校と地域の間で、遠慮なく対話することができていますか』について、4〜6人のグループに分かれ、話し合いました。今回は、地域の方々が大勢参加してくれたおかげで、前向きな意見もたくさん出て、話し足りない方もいたり、とても有意義な時間を過ごすことができました。



山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

第46回 収穫祭

今年も、自然の恵みへの感謝やお世話になっている皆様への感謝を学園生が表現する場として、11月20日(土)と21日(日)の2日間にわたって収穫祭を開催しました。

初日は農事報告と感謝の式を執り行いました。感謝の式では、学園生の代表が祝詞に代わる作文を読んだり、玉串を奉奠するなど厳かな雰囲気で行われました。野生動物に折角の作物を荒らされたりと大変な事もありましたが、自然には恵みと災いの両面があることを知ることができた農作業体験でした。

2日目は八坂小学校の体育館をお借りして、個人体験発表と全体発表を行いました。個人体験発表では、ここで生活する中で興味がわいたことを実際に体験し、発表しました。何日もかけてたくさん体験をして気がついたこと、これからどんなことに挑戦していきたいのかなどを大きな舞台で堂々と発表することができました。



全体発表では、今まで練習してきた演目に、四季が移るにつれて変化する学園生の心境を重ね、それぞれが感じて来たエピソードを交えながら発表をしました。演目に出演しないときは裏から声を出したり、次の演目の準備をしたりと、全員で作りに上げることができた全体発表でした。

最後には、来て下さった多くの人から「すごかったね!」「よく頑張ったね」と声をかけていただき、笑顔で収穫祭を終えることが出来ました。

たくさんの方の地域の皆様の支えがあつて無事に収穫祭を終えることができました。日頃からのご理解とご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。



八坂地区文化祭

八坂公民館は、関係機関や団体の皆さんによる実行委員会を組織し、10月23日（土）と24日（日）、八坂小学校において文化祭を開催しました。

コロナ禍が続く中、展示品の製作やステージ発表の練習などができなかった時期もありましたが、例年と同様に賑わいある文化祭となり、300人を超える来場者がありました。



展示作品では、小中学生や保育園児の作品をはじめ、書道、陶芸、コミュニケーションスクールなど、活動の成果となる作品が並びました。また、シニアクラブによるこけ玉展は、身近な自然素材を使って工夫を凝らした力作が多く展示されました。

ステージ発表では、保育園児や小学生のダンス、山留太鼓の発表に続き、大正琴の演奏や舞踊、善亭穴太さんや青空さんによる落語、中学校吹奏楽部の演奏など、多彩で素晴らしい発表がされました。特に、谷林夏季さんと北澤美咲さんによるピアノ連弾は、息の合った演奏で盛り上がりました。

一年間の成果を発表！





八坂地区子育てセミナー

「親子で凧作り」

地域子育てセミナー「親子で凧作り」を11月27日(土)に八坂公民館で開催し、園児から小・中学生、保護者の皆さんなど54名が参加しました。

今回の凧作りには、講師として北澤豊繁さんにご協力いただき、竹ひごと和紙でつくる和凧2種類とビニールやストローで作るビニール凧の中から自分で選んだ凧を作りました。

子ども達は、凧の設計図書を見ながら、材料の加工や貼り付けなどを行い、わからないところは、保護者や講師に聞きながら凧作りを行いました。また、自分で考え、工夫をしながら進めたことにより、ものづくりの大変さと楽しさを体験することができたと思います。子供達は、凧が出来上がった後、早速、公民館の庭に出て凧を飛ばしていました。



地元の食文化であるそば打ちの技術を継承していくため、八坂産の新そばを使ったそば打ち講習会を八坂ふるさと体験館において、11月19日(金)から全5回の日程で開催しました。今年は、「八坂元氣会」の皆さんのご指導により、水廻しや練り、のし、切りなど、そば打ちの一連の手順を丁寧に教えていただきました。

八坂塾「そば打ち講習会」



また、受講者は、そば打ちの初心者から優先したこと、初めてそばを打つ皆さんからも多くご参加いただきました。受講者の皆さんは、初めは苦戦していましたが、回を重ねる度に徐々にコツをつかんで上達し、風味豊かでした。美味しくそばを打てるようになりました。

八坂を思う気持ちが原動力！
技術向上に邁進！！

やさかげんきかい
八坂元氣会

令和2年、有志で立ち上げた『八坂元氣会』。八坂への思いが、その名称に込められています。会長の田中照幸さんに活動についてお聞きしました。

『八坂元氣会』とは初めて

聞く名称だと思えますので分
かりやすく言いますと、旧八
坂村商工会のメンバーや、地
区内のイベント時におでんや

焼き鳥 たこ焼き等の出店を
しているおじさんおばさんお
兄さんお姉さん達、応援して
下さっている有志の皆さんで
立ち上げた会です。

八坂ふるさと体験館を長年、管理運営を行って来た前指定管理者さんが、今年度以降、管理運営を行わないとの話を聞き、指定管理について考えました。これは何とかしないといけない、体験館の灯を消してはいけない等と、大それた発想では無く、せつかく八坂の食文化などを伝承する施設として建設された施設ですし、そばやおやき作りはもちろんのこと、陶芸クラブの皆さんも利用されている施設である事から、空き家にしておくのは忍びないと感じ、急ぎよお声掛けをし、14名の会員で発足しました



「八坂元氣会」の名前の由来は、体験館の運営を通して会員はもちろんの事、八坂をもっと元気になりたい、そんな思いで付けた名称です。

将来的には、会員が講師となり、そば打ちやおやきづくり体験を受け入れる施設にするため、現在は月1回のペースで講師をお招きし、そば打ちの講習会を行っています。

講習会は年末には終了します
ので、「年越しそば」として、
八坂産の新そばを使った
生そばの販売を計画していま
すので、ご利用いただけたら
嬉しいです。

また、この記事掲載をもって改めて会員の募集をさせて頂ければ幸いです。公民館主催のそば打ち講習会が毎年開かれており、腕に覚えのある

方も大勢ありません。いでしょうか。また新たに八坂に居を構えられた方々も、是非一緒に八坂地区を盛り上げていきましょう。

八坂元氣会

会長 田中照幸



編集後記

新年あけましておめでと
うございます。本年もよろ
しくお願いいたします。

早いもので、編集委員の任期もあとわずかとなりましたがコロナ禍の中、自治振興会活動が思うようにできない2年間ではなかったかと思えます。

野平自治振興会では、感染防止に気を付けながらラベンダーの摘み取り体験の開催や、7月3日の協議会の『田舎暮らし体験ツアー』の開催にも協力することができました。また7月の剪定作業では「やさかボランティア隊」の皆さんの応援があり、暑い中の作業は午前中で終わることができました。その際に刈り取ったラベンダーの花を大

町社会福祉協議会に差し入れし、利用者の方にとても喜ばれました。また、北アルプス国際芸術祭の横瀬地区の作品「心田を耕す」が八坂でなくては出来ない作品、八坂の人はすごいとの評判にもなりました。

本年もウィズコロナで出ることを考えながら自治体振興会の事業を進めていきたいと思います。

野平地区編集委員

丸山郁夫